

福岡工業大学短期大学部 曾 超教授 国際会議 ACIS2016 Best Runner-up Paper Award 受賞



福岡工業大学短期大学部 情報メディア学科
曾 超教授

短期大学部情報メディア学科の曾教授が九州大学の廣川 佐千男教授、中藤 哲也助教らと共同で執筆した論文「Discovery of Cultural Tourism Preference in Multilingual Tourism Information Site」が、10月27日（木）～29日（土）にタイで開かれた ACIS2016（The Fifth Asian Conference on Information Systems）において「Best Runner-up Paper Award」を受賞いたしました。

この研究は、曾先生が企業との産学共同研究で開発された多言語観光情報サイトのデータに対して、「国的地域的観光嗜好」について機械学習やデータマイニングの手法を用いて分析・発見するというものです。その研究結果が今後企業サイトにおけるコンテンツ制作や企業のビジネス活動に大いに活用されることが期待されています。観光振興が全国各地で盛んに取り組まれている中、九州での観光振興は特に期待される場所ですが、多くの外国のお客様のニーズにあった観光情報を届けることがとても重要になります。

人は通常、人の嗜好（好み）によって情報を求めますが、その嗜好がわからないと、情報提供側は大変です。例えば、観光サイトの場合、各国の言葉（通常10か国語）で日本の、九州の情報をすべて集約する作業はとても膨大な作業となり、時間もかかります。そこで、各国の人々の文化や地域的な嗜好を掴むことができれば、情報を取捨選択して届けることができ、欲しがっている情報を的確に、スピーディに届けることが可能です。

曾教授たちはデータマイニングと機械学習による分析を行うことで、各国の人々の地域的、文化的嗜好を掴み、それにフィットした情報を選び出し、届けるという手法を研究しました。今回の学会ではその研究が評価され、受賞となりました。「この研究は産学連携で進められているのが魅力的です。世の中の動きが肌で感じられ、実用的です。今後、どのような展開になるか、私も楽しみです。」という笑顔の曾先生でした。